

会議の結果報告

名称	令和８年度 玉川地区学校適正配置地元代表協議会【第５回】	
開催日時	令和８年７月15日（水） 19時00分～21時00分	
開催場所	玉川支所 ２階 大ホール	
出席者	【委 員】 会長 外21名（教育長、副教育長を含む） ※２名欠席（九和保育所保護者代表、玉川中学校PTA） ※２名オンライン出席（日の出保育所保護者代表、 九和保育所保護者代表）	
	【その他】 なし（玉川支所長 欠席）	
	【事務局】 今治市教育委員会教育政策局長 外８名	
傍聴者	１名	
議題	1	前回（第４回）で出た意見への回答
	2	望ましい学校のあり方について
	3	意見交換
議事内容	1	前回（第４回）で出た意見への回答 ・小中連携教育、小中一貫教育、義務教育学校の違い及び県内他市の小中一貫校または小中連携校の実施状況について事務局から説明した。 ・市街化調整区域の見直し要望について、担当課からの回答資料を事務局から提示した。
	2	望ましい学校のあり方について ・事務局から、教職員アンケートの結果について報告した。 ・事務局から、統合校として玉川中学校での小中一貫校の実施を提案し、合意形成の方向性を示した。
	3	意見交換 ① 事務局からの統合校提案を踏まえ、統合場所を玉川中学校とする案を軸に小中一貫教育に対する不安解消や特色化・魅力化について検討し、次回から、合意形成に向けて議論する方針で委員の了承を得た。 ② 今回の議論を踏まえ、次回、事務局から意見書の案を提示することとなった。また、中学校までの通学距離の資料提示を求められた。 ③ 鴨部地区の児童生徒の流出防止や地域的な合意を重視する意見により、玉川中学校を統合場所とする施設一体型の小中一貫校を軸に検討を進めることとなった。一方で、小中学生が同一校舎で学ぶためには施設改修が必要との意見が出され、改修が困難な場合は鴨部小学校施設も活用しながら九和小学校で小学校同士を統合する意見も示された。これに対し事務局は、必要な教室確保や施設改修を行う方向であると説明した。 ④ 保護者や学校関係者から、地域の特色を生かした魅力ある学校づくりに

	より児童生徒数の確保を目指すべきとの意見が出され、英語やテニスなど特定分野への特化、自然を活用した体験活動、民話の里としての地域資源の活用などのアイデアが示された。 ・（委員から情報提供）玉川中学校のプールは、建設時点では小学生でも使える規模（水深等）でつくっているが、現在も同様の状態かは不明である。 ・（保護者から質問）現在、小中学校が同一校舎にある岡村小・関前中では児童生徒にどのような影響があったか。また、教職員の仕事の負担はどうか。 ▶事務局から、岡村小・関前中のような極小規模校では、小中学生が同一校舎で過ごすデメリットよりも児童生徒数を確保できるメリットが大きいと説明した。また、小規模校ほど教職員一人当たりの負担が増えるものの、学校規模によって負担となる場面が違い、大小は一概には比較できないと回答した。 ・（保護者から意見）市や教育委員会は、コーディネーターや支援員を配置するなど教職員を手厚くサポートしてほしい。 ・（保護者から意見）現在も、小・中の9年間を通してほぼ児童生徒の顔ぶれは変わらないため、統合するからといって人間関係の固定化を特に課題視する必要はないのではないか。 ・（委員から意見）小中一貫校でも、学校の先生や教育委員会の工夫によって、小学校から中学校へ進学するワクワク感は維持できると思う。 ・（委員から質問）玉川中学校で学校統合する場合は施設の改修を行うと言うが、九和小学校で学校統合する場合は、改修等はしないのか。 ▶事務局から、九和小学校で学校統合する場合も、必要な改修は行うと回答した。 ・（保護者から意見）玉川調理場の建て替えが決定していると聞いたが、学校に併設していただけないか。 ▶今治市全体の調理場の状態を調査・見直しする中で、玉川調理場は耐震性がなく建て替えの優先度が高いとされている状況。まだ、設置場所や建て替えについて具体的には決定していないと事務局から回答した。
備考	次の開催は、令和8年8月25日（火）午後7時から玉川支所2階大ホールを予定。